

保護者各位

平成31年4月10日

高槻双葉幼稚園 学校評価・自己評価への取り組みについて

幼稚園型認定こども園

高槻双葉幼稚園

高槻双葉幼稚園では学校評価に取り組み、保育の質の向上に向けて職員が自己評価を行って園の課題、個人の課題を明確にし、その課題解決に取り組んでいます。

☆学校評価の目的

○幼稚園において、幼児がより良い教育活動を享受できるよう、学校運営の改善と発展を目指し、教育の水準の保証と向上を図ること。

☆自己評価

○自己評価は園長のリーダーシップの下で、職員全員が参加し、設定した目標や具体的計画等に照らして、その達成状況や達成に向けた取り組みの適切さについて評価を行うものである。

☆学校関係者評価

○学校関係者評価は、保護者、地域住民などにより構成された評価委員会等が、学校が行った自己評価の結果について評価することを基本として行うものである。

職員全員による自己評価から見出した課題点の中から、重点的に取り組む目標を決めています！

●平成30年度 重点的に取り組んできた評価項目

- 1、教育課程の見直しについて
- 2、研修・研究の充実について
- 3、子育て支援について

●平成30年度 評価項目の達成及び取り組み状況

課 題	具 体 的 な 取 り 組 み
「教育課程の見直しについて」	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年4月の幼稚園教育要領の改訂に伴い、各学年の教育課程を今の子どもの姿に合わせて見直していく。
「研修・研究の充実について」 <ul style="list-style-type: none"> 園内研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 園内での様々な観点において研修を企画、実施する。
「子育て支援について」 <ul style="list-style-type: none"> 子育てにおける様々な情報発信を行う 園庭開放時に子育て相談ブースを設置する 園庭開放時に未就園児をもつ保護者対象に子育てにおける情報発信を行い、保護者同士がつながるきっかけをつくる 	<ul style="list-style-type: none"> 子育てに関する様々な情報を手紙などで知らせ、育児に役立ててもらったり、現代の子どもにおける問題点を保護者と共有し子育てに同じ意識を持てるようにしたい。 園庭開放時における子育て相談の周知を行い、気軽に相談できる環境をつくる。 未就園児の保護者同士が話ができるような企画を行う

●平成30年度 評価項目の具体的な目標や計画の評価結果

「教育課程の見直しについて」は、幼稚園教育要領で明示された「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」(幼児の幼稚園修了時の具体的な姿)を意識して今年度は各学年の教育課程を見直すべく、まずは毎月の活動一つ一つの月案を見直すところから始めた。各学年から集まったメンバーで学年間の子どもの育ちを共有し、それぞれの学年に持ち帰り職員全員で共有することに努めた。その後実際に各クラスで取り組み、その時の子どもの様子や育ちを各学年で振り返り次年度に引き継げるようにしている。教育課程の見直しに次いで指導計画の見直し、作成を行ったが次年度も継続して取り組む。

「研修・研究の充実について」は、年間の計画に沿ってそれぞれの外部研修、または園内研修に参加した。

・園内研修の実施(中間報告以降)

11月21日	1・2・3年目研修 「保育者のかかわりにおける様々な考え方」
11月14日	第3回園内研修 「ALSOK さすまた護身術教室」
2月 1日	1・2年目研修 「学年末ミーティング」

上記の園内研修に加え、各学年において保育の見合いを行った。担任が事前に、クラスの子どもたちの姿・保育活動の中で感じる成果と課題をもとに、保育を観察する他の保育者に対して「問い」として聞きたいことをまとめ、それをもとに観察を行い、意見交換を行った。自分だけでは思いつかないような発想や、自分のいいところを指摘してもらえること、悩み(問い)についても寄り添った意見をもらったことに、手ごたえを感じる事ができた。

また、園内の保育実践や、園内研修を通して気づいたことや得た成果をもとに、12月には「保育と仲間づくりネット冬期研修会」において職員数名によるポスター発表を行い、主に「保育環境」をもとに他園の参加者から、実践の成果や課題に対する意見や感想、示唆をいただくことができた。

「子育て支援について」は0歳1歳児の第一子を対象にしたクラス「たねっこルーム」の第2回目、3回目を開催した。初回に職員主体の活動が多かったという課題から、保護者どうしが交流できる時間をとることができるように取り組んだ。実際には保護者が子どもの様子を見るのが中心になってしまうのでなかなか交流を深めることは難しかったが、継続して取り組みたい。3回目には栄養士の先生に参加してもらい、食育についての話をしてもらった。このような情報発信も行っていきたい。

毎月開催している園庭開放では、子育てに関しての手紙を毎月配布し、情報発信を行った。在園の保護者に対しては、虐待啓発の手紙を配布した。虐待啓発以外にも、子育ての悩みを共有できるような内容の手紙の発信も今後していきたいと考える。

また、在園保護者を対象に子育て支援の講演会を年間2回実施した。4月は「幼稚園で育つこと・家庭で育つこと ～その子らしさを支える子育て～」、3月には「子どもたちは何を見ているんだろう、聴いているんだろう、考えているんだろう！～少し一緒に考えてみませんか～」という内容で、講師の先生をお招きし、保護者全員どちらかの講演会に出席してもらうように企画・実施した。

●平成30年度評価項目取り組みについての学校関係者の評価

教育課程の見直しについて

- ・4月からの成長を感じながら先生が保育をしていると感じた。
- ・子どもの発達に合わせた育ちの項目がいくつもあり、達成できるよう良く考えられていると思う。
- ・年齢に応じた環境設定を行い、各年齢の課題を考えながら保育されていると感じた。

研修・研究の実施について

- ・公開保育は先生達にとって大変だろうが保育の質を高めるためにとっても良いと思うので、頑張っていって欲しい。保育の見合いの取り組みも続けてほしいと思う。
- ・保育の見合いは先生達にとって初めは取り組みが難しいことだと思うが、双葉幼稚園は見合いができる環境にあり、とても良いと思った。
- ・研修会、特に園内研修によく取り組んでいる。

子育て支援について

- ・0歳児保護者の方はこのような集会への参加を気後れされることが多い。子どもと1対1の関係になりがちな0歳児期に外との交流が持てるのは良い機会だと思うので、開催情報を共有して発信していきたい。
- ・虐待防止の手紙は、配布されることで気づき・再度意識するきっかけになると思う。
- ・年少児の保護者だが、2・3月でも朝泣いて登園する事があったので、そのように泣いて登園する子どもの気持ちについてふれたり、安心できる呼びかけの内容の手紙があれば良い。
- ・子育て支援講演会後の手紙で、参加者の感想を載せていたので、悩んでいることが自分だけではないと分かって安心出来た。

●2019年度 重点的に取り組む評価項目

課 題	具 体 的 な 取 り 組 み
「教育課程の見直しについて」	<ul style="list-style-type: none"> ・「何が育つか」、「どんな姿・育ちを願うか」という視点から保育計画を引き続き考え、教育課程の見直し、指導計画の作成を行う
「研修・研究の充実について」 <ul style="list-style-type: none"> ・園内研修の実施 ・外部研修での学びを共有 ・公開保育を活用し自園の実践を振り返る 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な課題や学びたいことに対して研修を企画・実施する ・職員の課題意識や組織として学んでいってほしい分野を整理し、外部研修を計画的に受講し、学んだ内容を共有できるようにしていく ・9月の公開保育に向けて、保育における課題を職員間で明確化、また共有し、更なる保育の質の向上に努める
「子育て支援・親育ち支援」 <ul style="list-style-type: none"> ・子育てにおける様々な情報発信を行う ・未就園児への子育てにおける情報発信、また保護者同士の交流を持つことができるような場の提供 ・親育ち支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・在園児の保護者に対して、子育ての様々な情報を手紙などで発信する ・にこにこルーム、たねっこルーム、園庭開放などの場を通して、子育てにおける情報発信はもちろん職員による子育て相談の受け入れ、キンダーカウンセリングの受け入れ、保護者の交流の機会を作るなどの取り組みを行う ・保護者の自己実現の場の提供、悩みの共有、近代社会における子育ての情報、留意点の啓発などに取り組む

●高槻双葉幼稚園 学校関係者評価委員会の開催について

上記のような自己評価・結果について、高槻双葉幼稚園では学校関係者評価委員会を年に2回開催しています。9月にはその年度の評価項目への取り組みの中間報告、3月には年間の報告を行い、学校関係者の方からいただいた意見を保育の向上につなげています。学校関係者の中には各学年から2名ずつのクラス委員さんにもご参加いただいています。今後もしっかり取り組み、よりよい保育を目指していきたいと思っております。